



彼女は留学中

僕らは

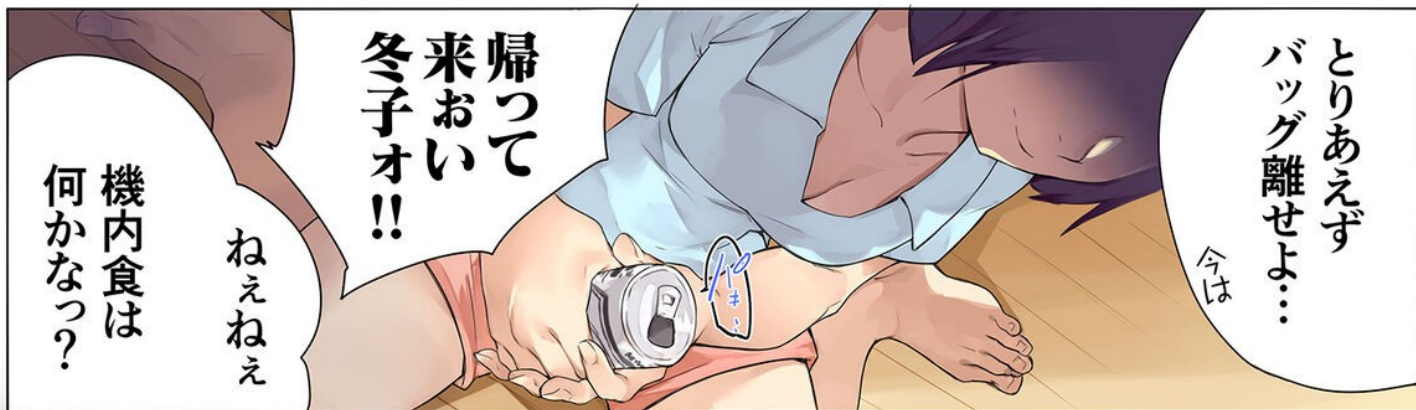
動物

のように

ハメ狂った。

淡水犬





とりあえず
バッグ離せよ…
今は

帰って
来おい
冬子オ!!

ねえねえ

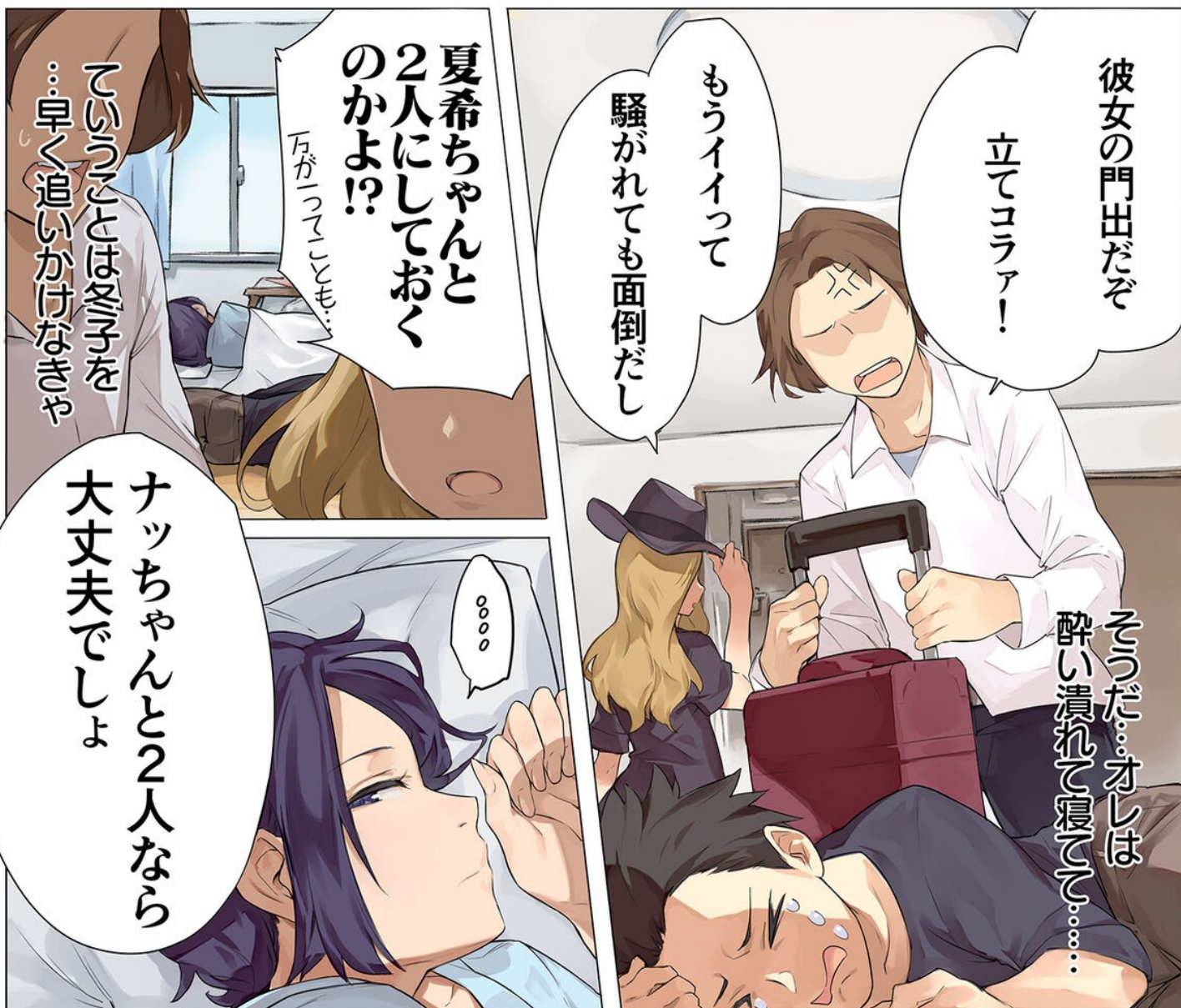
機内食は
何かなつ?

翌朝



……っ
ダメだ

全ッ然
起きない



彼女の門出だぞ

立てコラァ!

もうイイって

騒がれても面倒だし

そっだ…オレは
酔い潰れて寝てて……

夏希ちゃんと
2人にしておく
のかよ!?

万が一ってことも…

ていうことは冬子を
…早く追いかけるべきや

ナツちゃんと2人なら
大丈夫でしょ

〇〇〇

夏希ちゃん!

とりあえず
どいてっ

早く追
かけないと

何言
うんですあ?
——もう

間に合う時間
じゃないですよ?

翔太先輩

待っ...

ナマっ...?



ヤバイッ

びん

気持ち
良すぎて

オカシク
なりそうだった

やめろオ!

オレには...
冬子がア...

ざ

ずーっと
我慢してたん
ですなー

翔太先輩
カワイソ...

でももう
イイんですよ

気持ち良くなって
ください♡

私のカラダ...
オマ○コで
好きなだけ



もっどー！

夏希ちゃん

奥を突きたいう

今までで
イチバン

もっど気持ち
良くなりたい

気持ち
イイツ！

夏希イイ！

夏希
ちゃん！

冬子先輩よりも
気持ち良いですか？

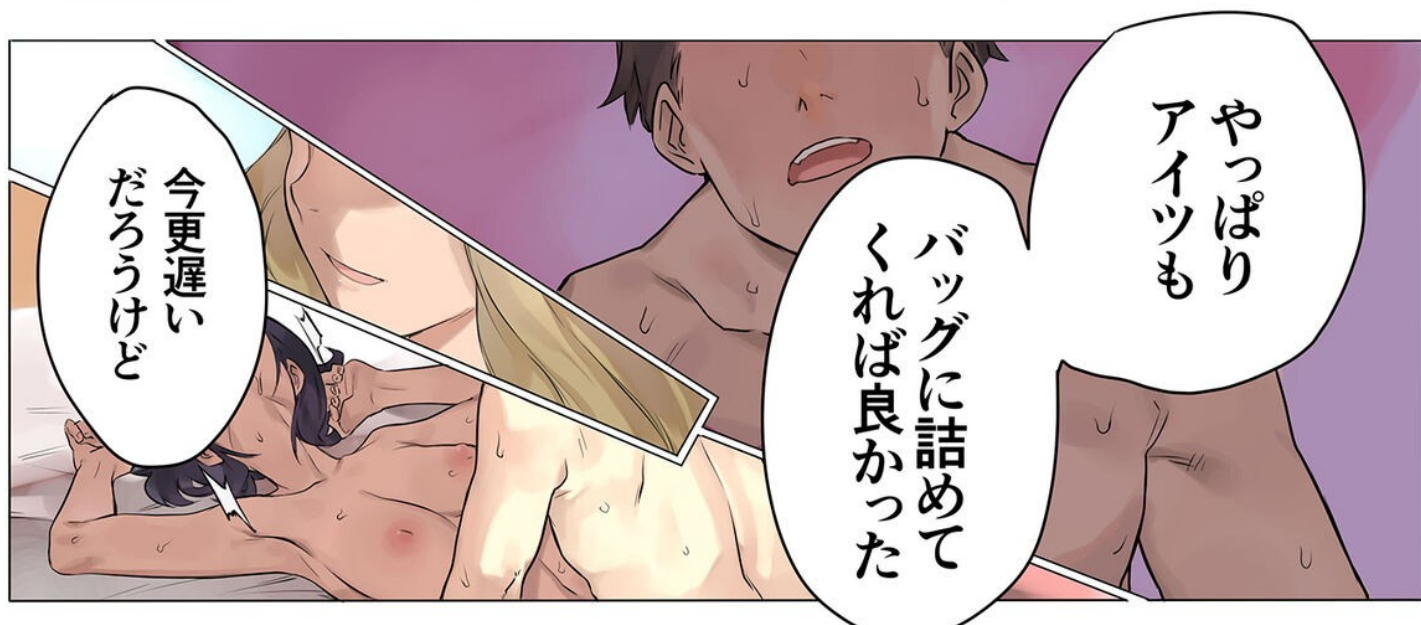
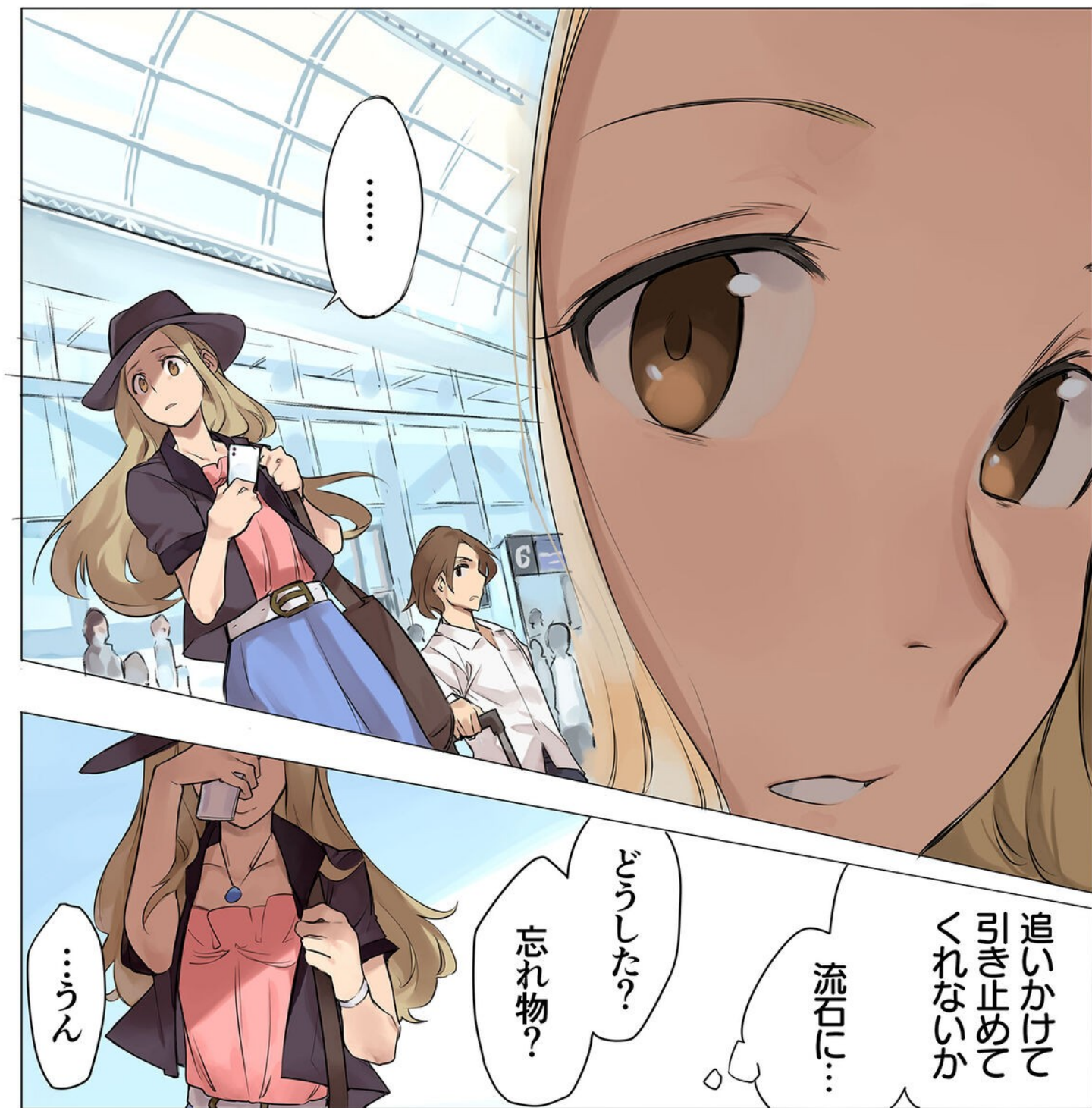
夏希ちゃん

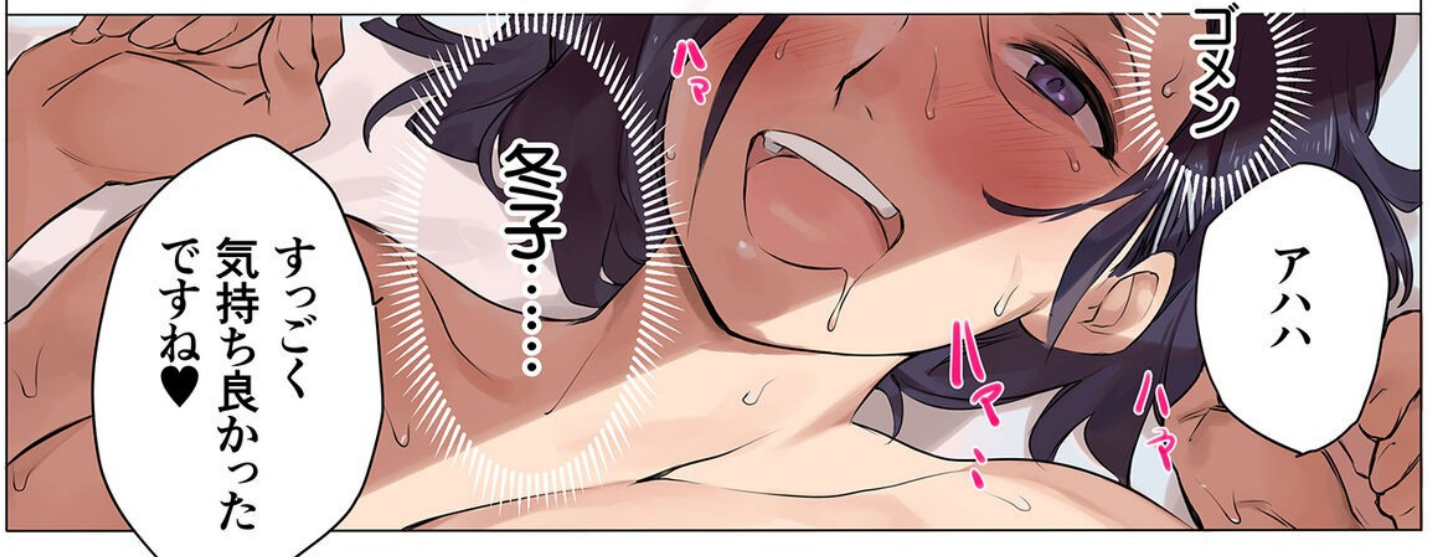
気持ち
イイツ！

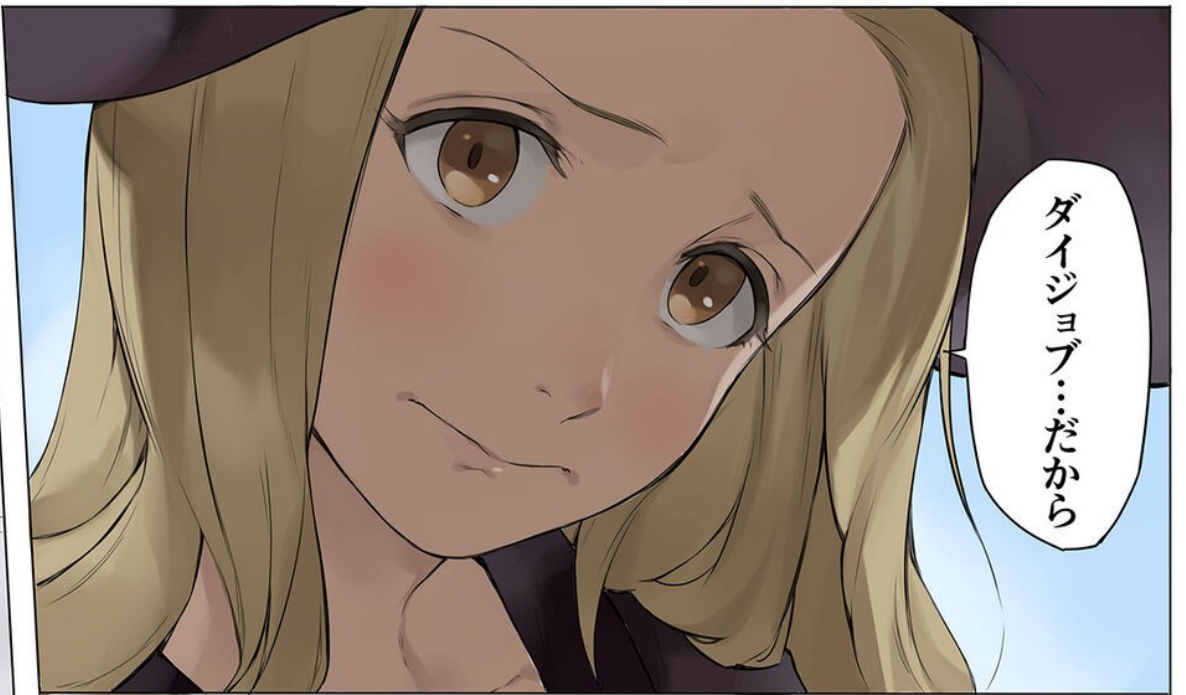
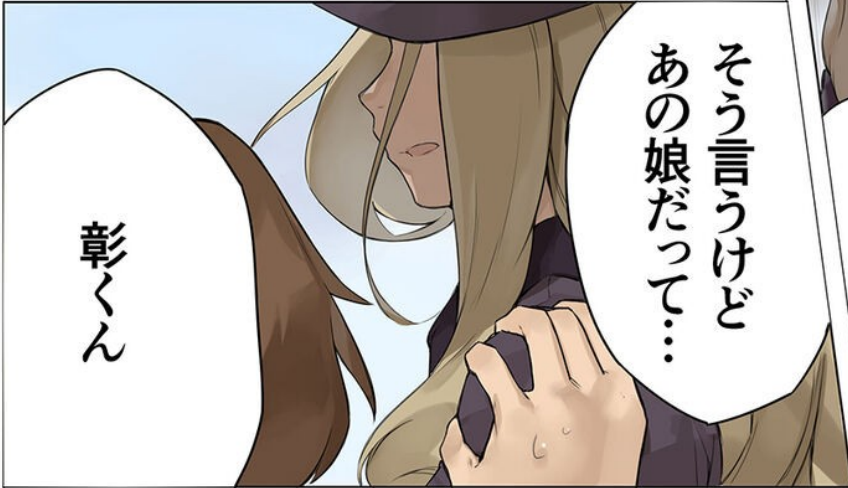
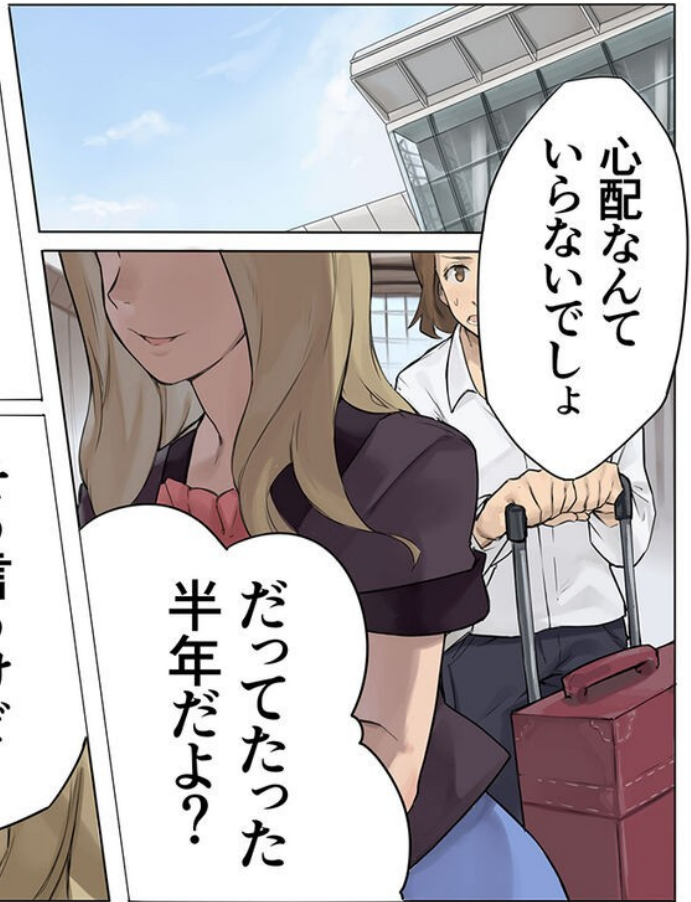
夏希ちゃんとの
セックスが…

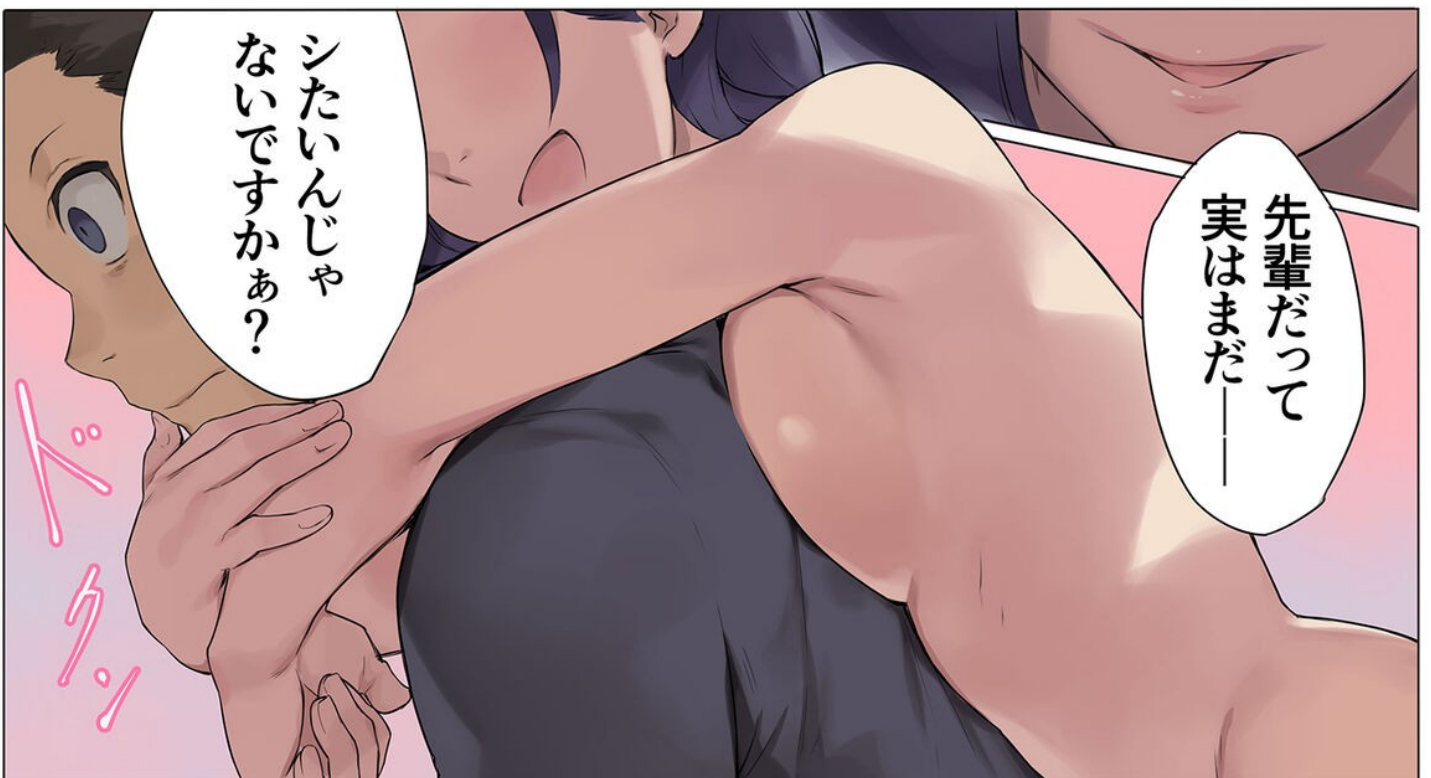
—
?!

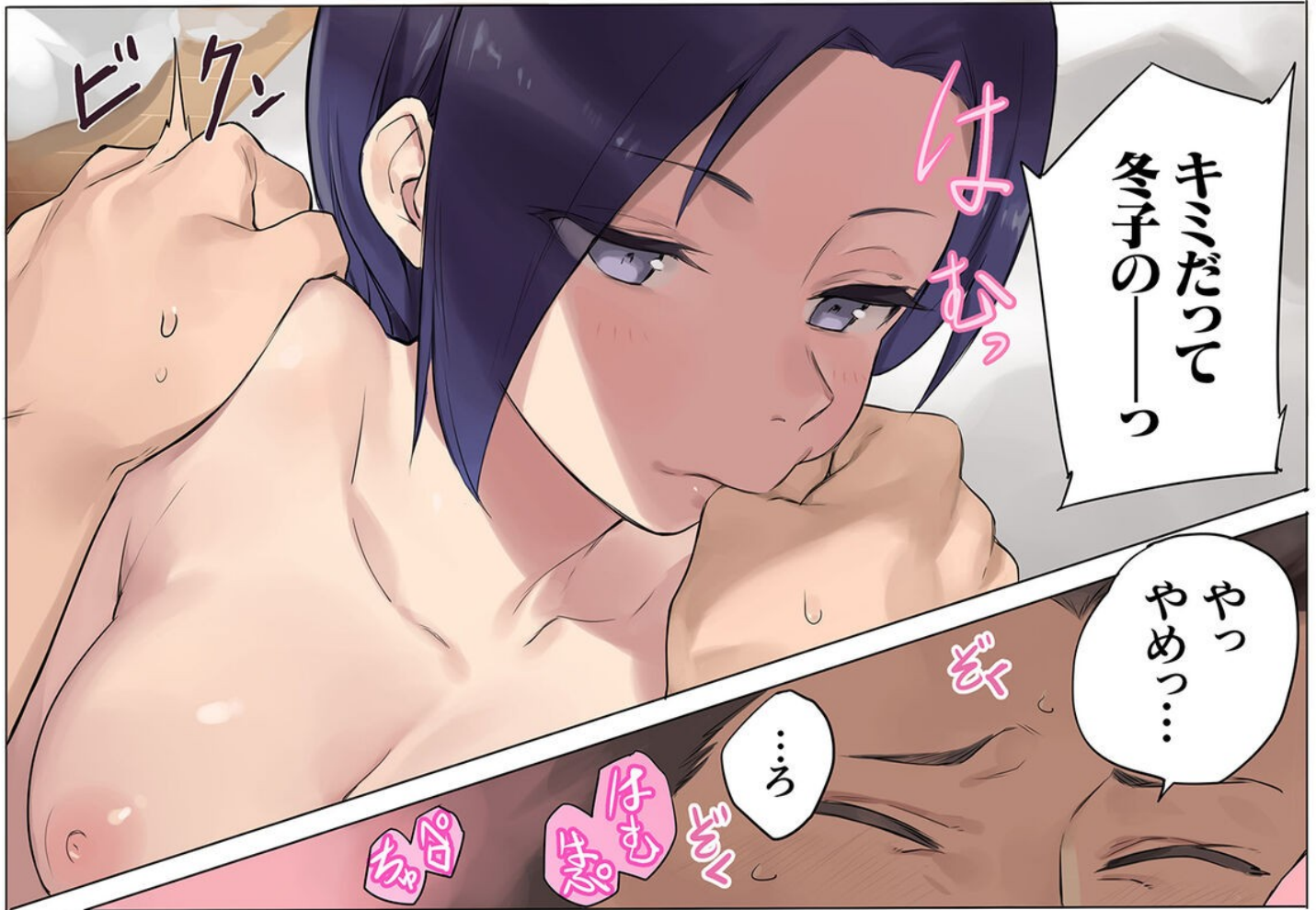
オマ○コが
一番気持ちいいー

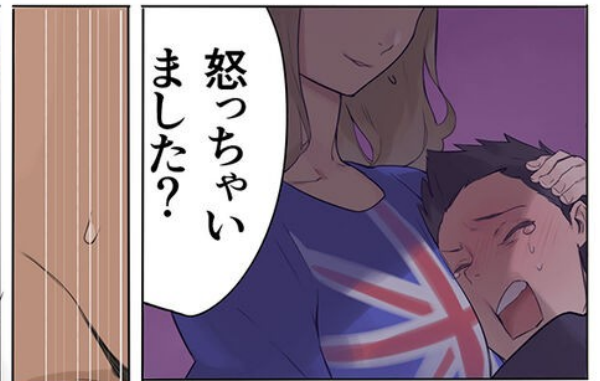


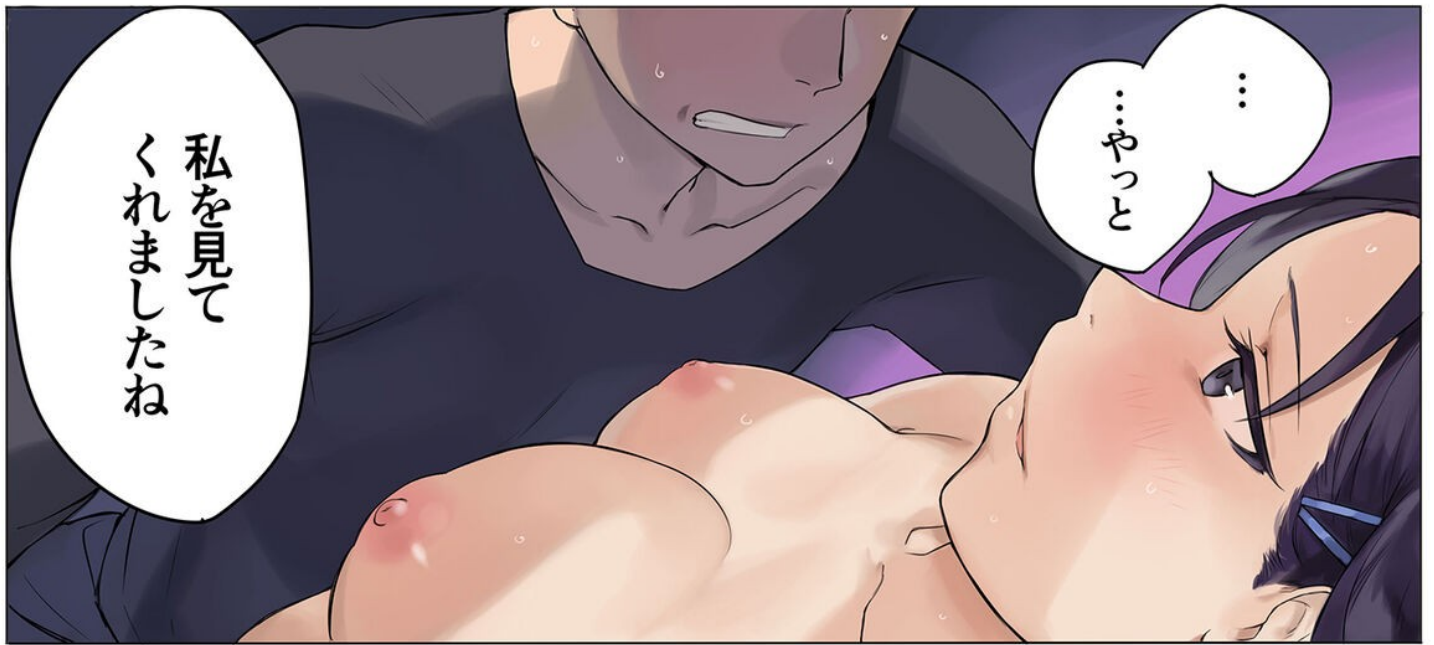


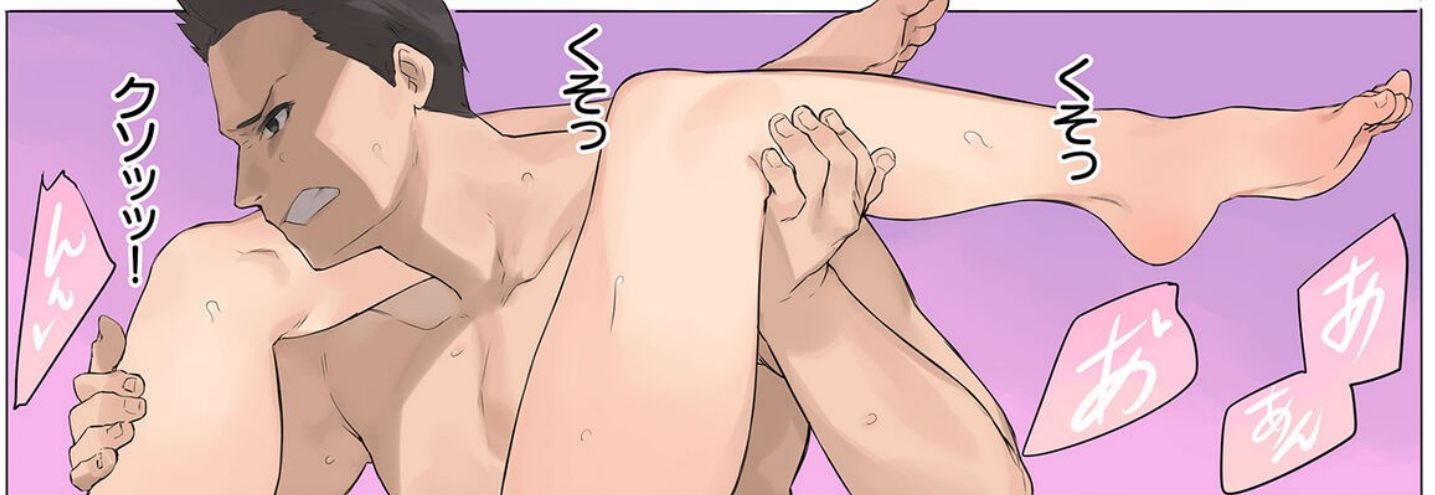


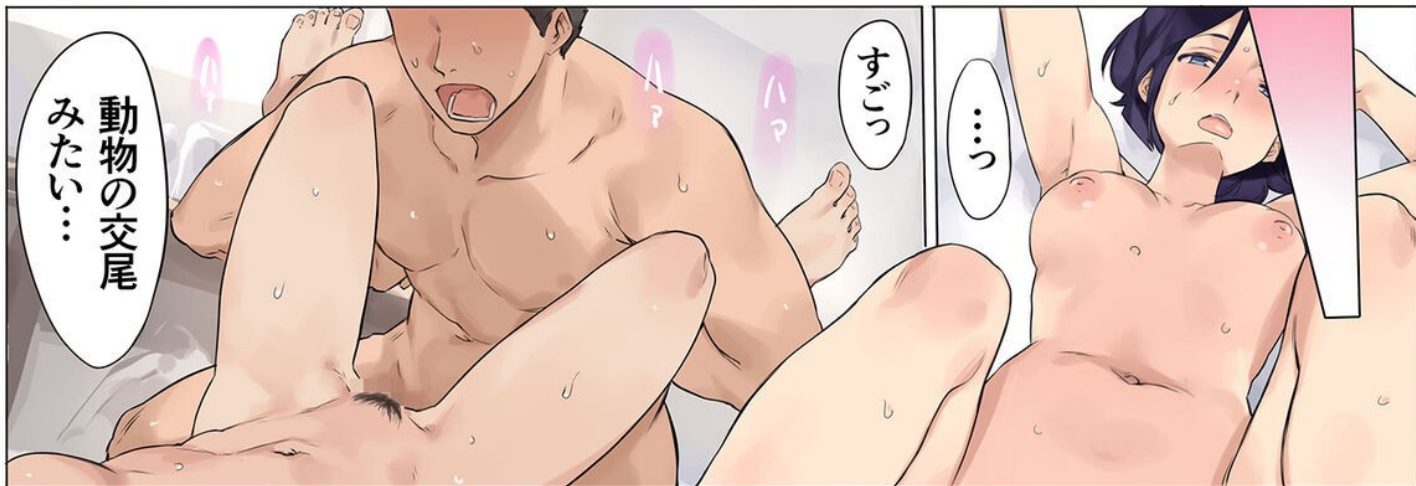














オラッ
射精すぞ

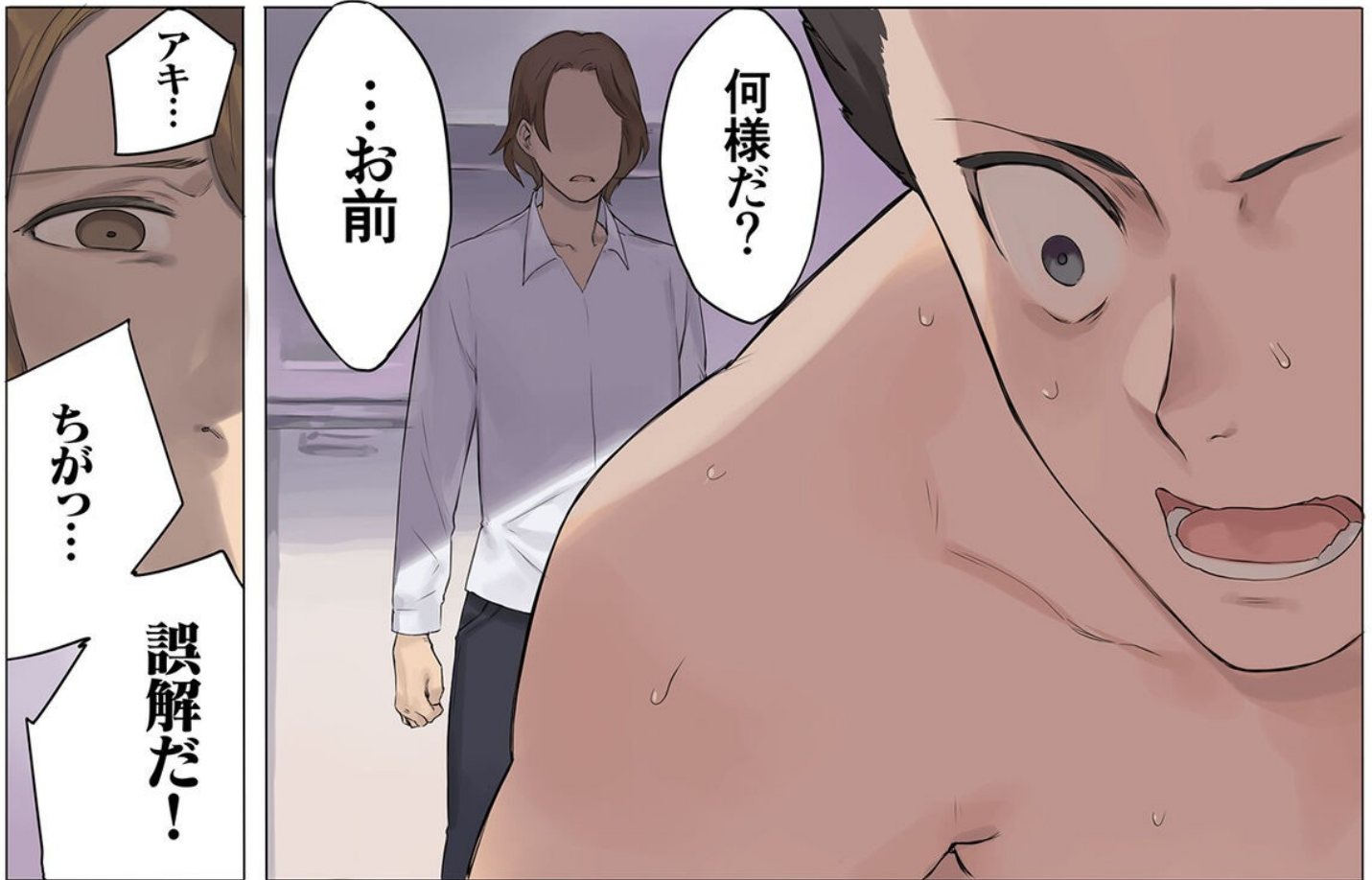
イケよ!

膣中で
イケよッ!

スケベ女!

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ







オレの人間関係
が壊れてから

一カ月が経った

…お前

随分イイ
ご身分だな

あれから
夏希^{コイツ}が居付き

塩としょうゆが
ありますけど

追い出すことも
できず何となく…

妙な共同生活
を続けている

…シオ

私も塩が
イイです

冬子から何通か
手紙がきたけど

…じゃ
シヨウユ

オレは
後ろめたさと
罪悪感から

返事を
できずにいる



座る場所も
ないじゃん！

何でこんな
すぐ汚く
できるワケ!?



ちよつと
何コレ!?



冬子は料理も
できるだろう？

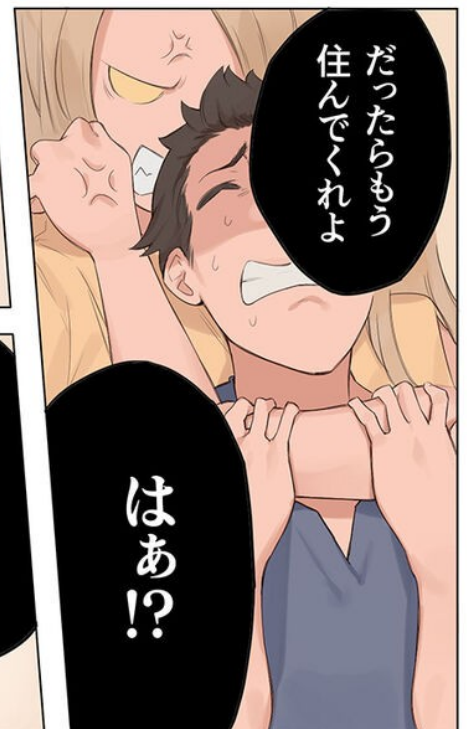
えっ!?

…はあ!?



フutonなら
空いてるよ

ああああ!?



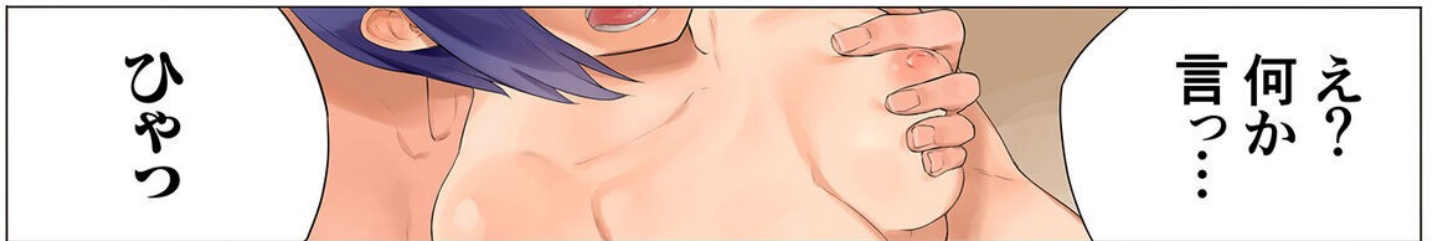
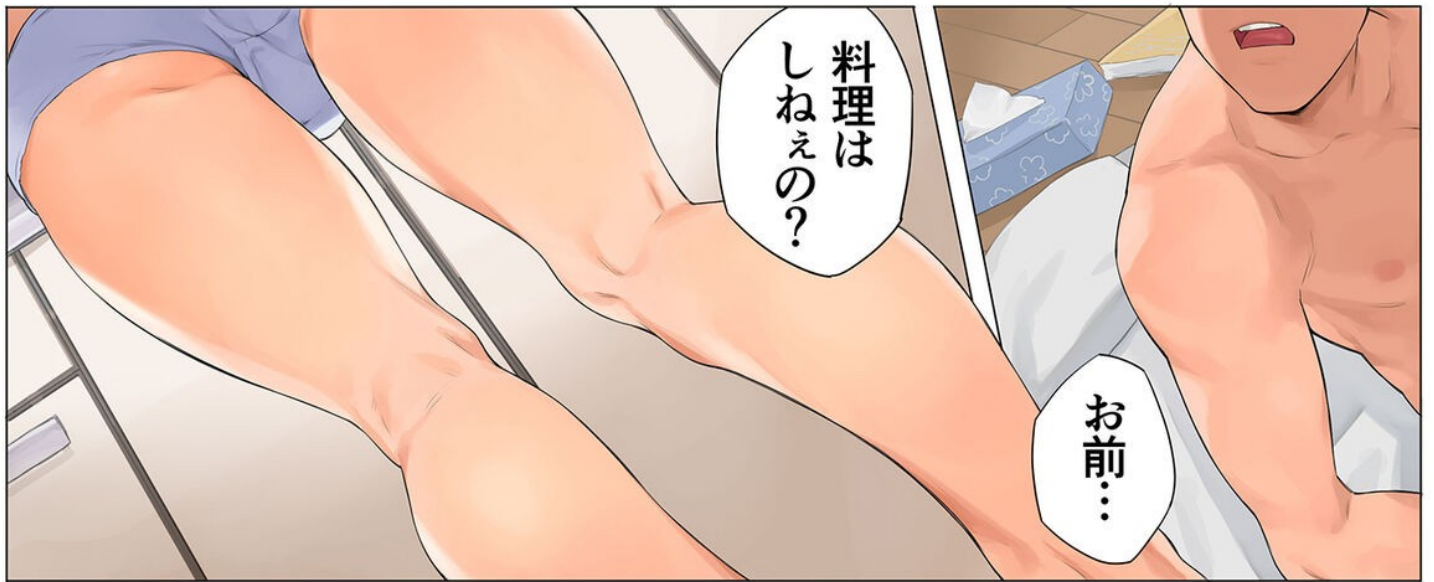
だったらもう
住んでくれよ

はあ!?



え—…

仕方ないなあ
…もう





おん

あつ

ああ

ひゃん

いつも好きな
時にやれる

おひる
ゴハン...

それがこの
変態オナナの

お前が
ヤリたそうに
してつから

付き合って
やってんだろ

あつ

唯一の美点と
言っている

アイっ

伸びちやい
ますよあ〜

どれくらい
ぶりだろう…

え？

あーごめん
今日はパス

今一番気合い
入れないとだから

今度ね

でも最後に
してからもう
ずいぶん…

冬子…

なあ…

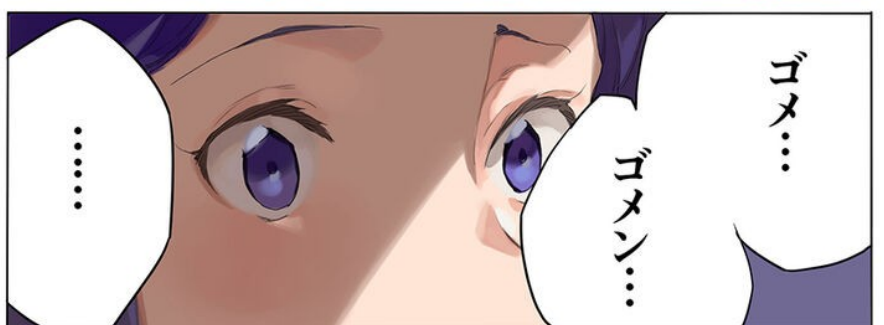
オレもう…

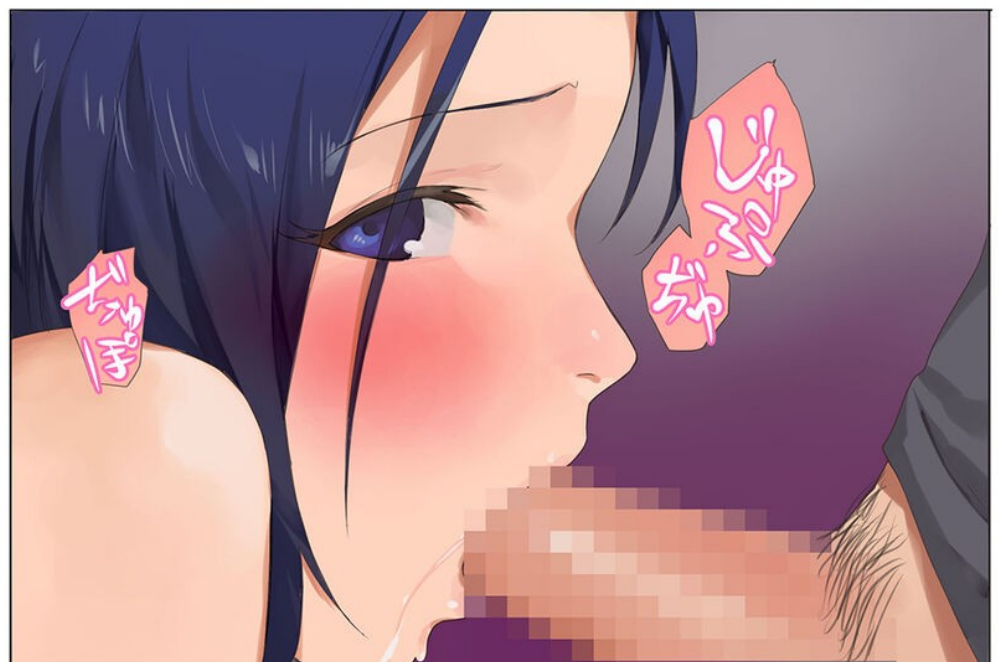
ちよつ

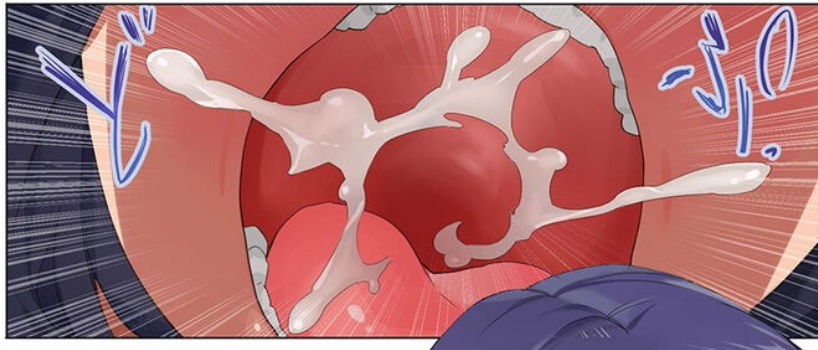
やめてっ

触ら
ないでよ！











—夏希もオレも

ほとんど学校に行かなくなっていた



オレたちの生活は更に荒んでいた



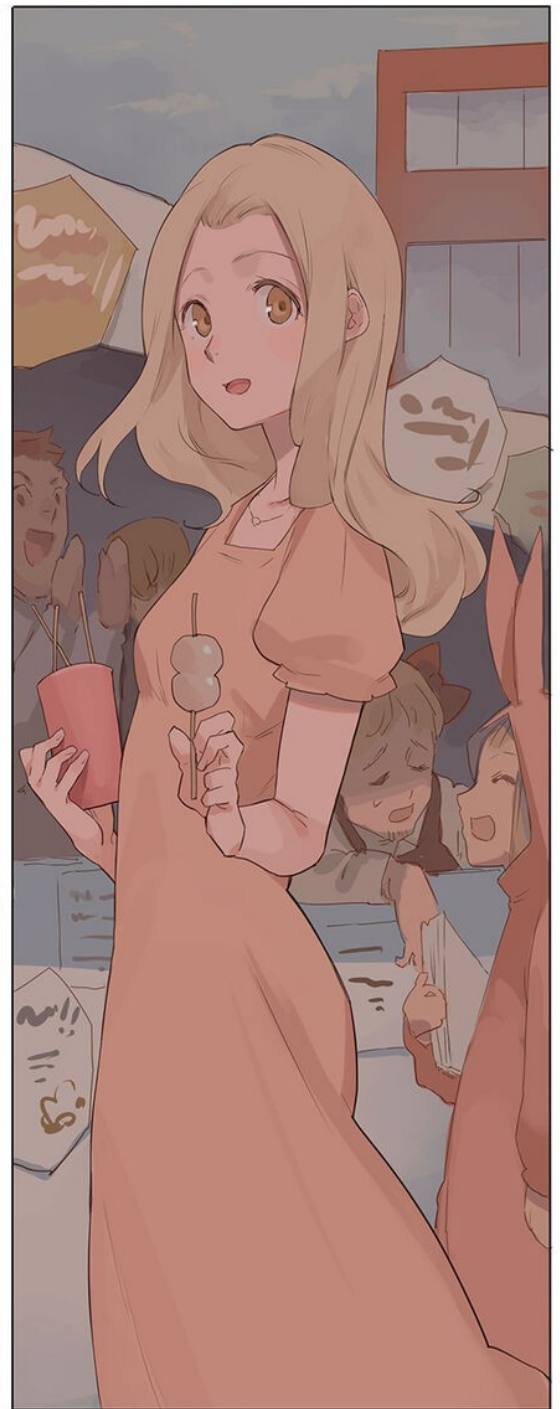
オレは親に黙って大学を辞めようと考えていた

もう何もかも面倒くさい

オイ……!

お前正気か!?









翔太♡

ホント
好きだね

…もう
またヤルの？



生活の延長線上…じゃない

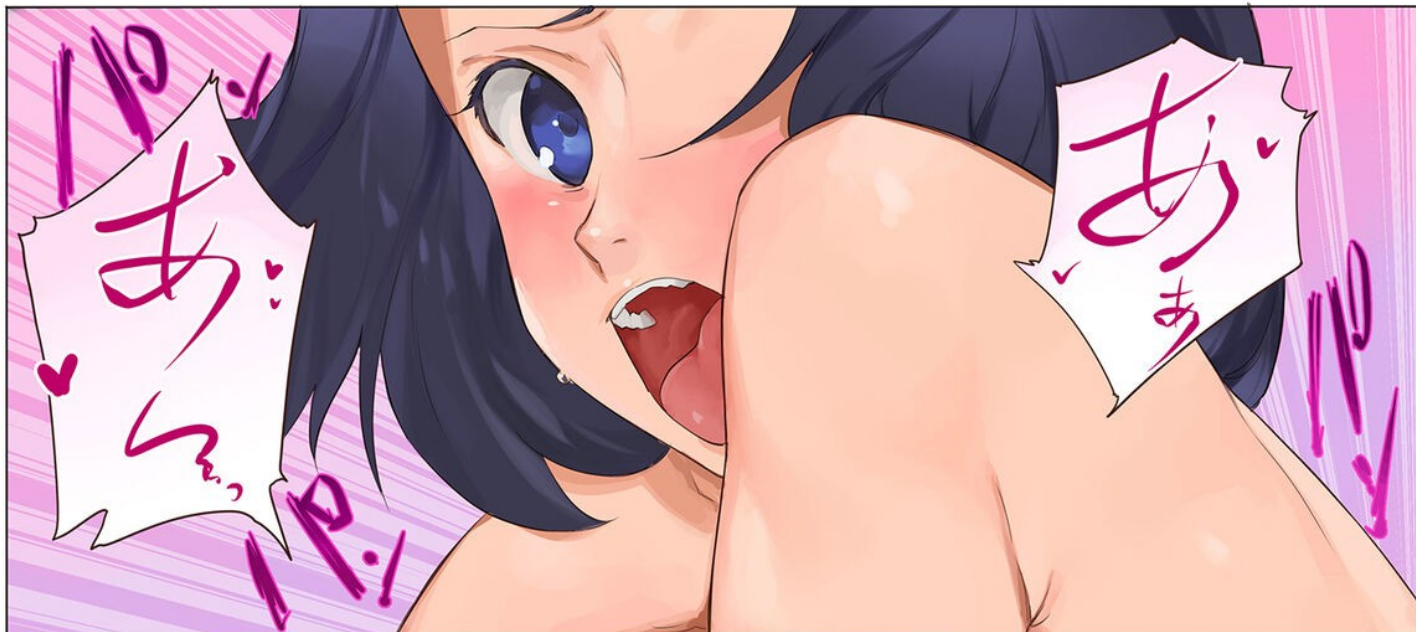
生きる目的としてセックスし

疲れたら寝て

起きたらまた心身を
満たすためだけに

セックスをする





奥がイイ
のお♡

もっともっと
激しく
突いてえ♡

オレは
最低だ

そんなもん
オレが一番

わかってる
…けどな

この女…
夏希との生活は

最高だ

いづづづ



疲れたあゝ
激しすぎ…



ピザ…

冷めちゃった

いや…
違う



また今日も
中出して…



いつまで
続けるんだ



——「イッ」とのこんな
破綻した生活

いつまで続けられるんだ…？



いつか夏希さえも
居なくなるとしたら…？

そうなる未来を
オレはなんとなく
予感していた——



あれから
半年――



オレ達は何度も
セックスをした



獣のようにただ
快樂だけを貪る



その時だけは
何もかもを
忘れられるから



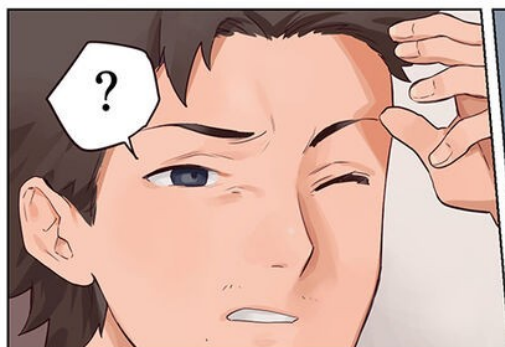
夏希ィ

また勃って
きちゃったぜ



…いきなり
どうした
ってんだよ

もう十分
休んだら



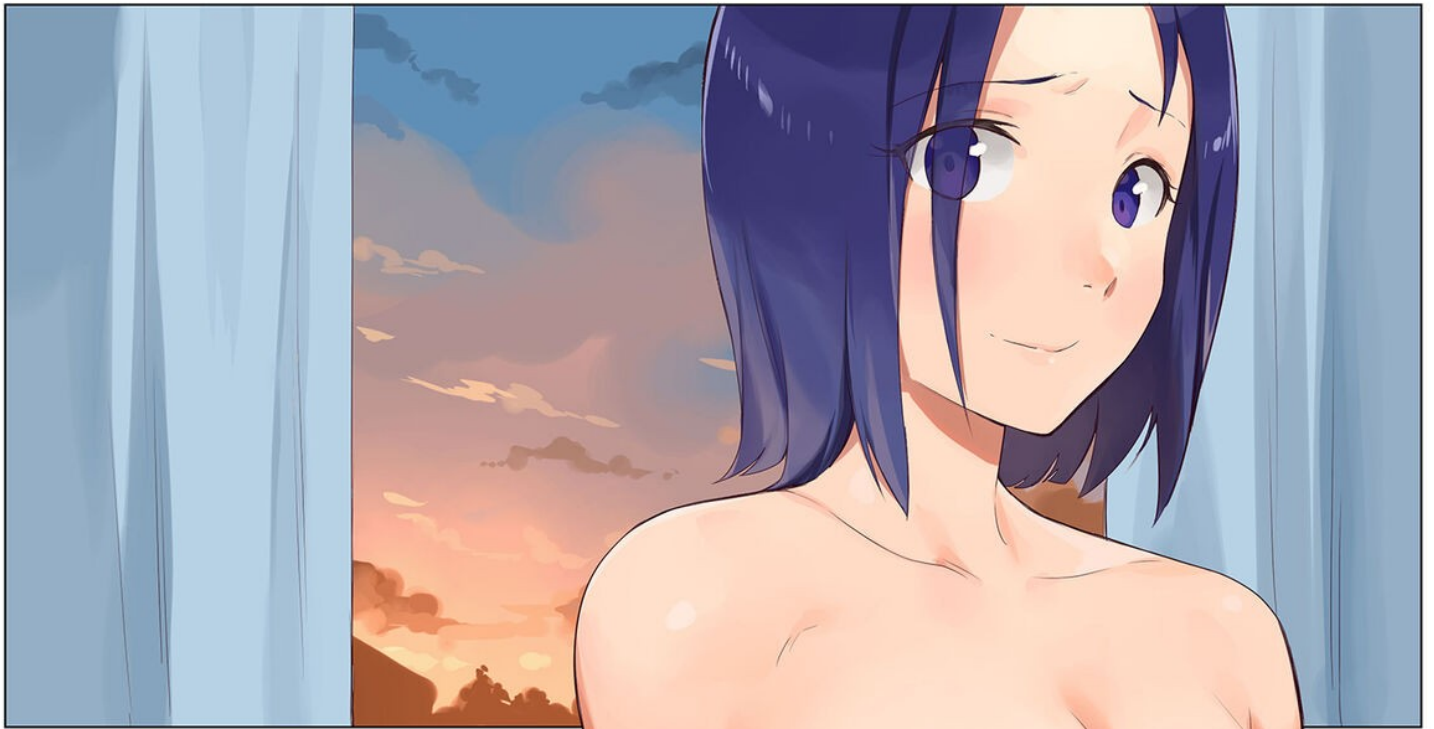
?



今日でちょうど
半年ですよ



フユ先輩が
帰ってきますね





ツザケンナ!!



お前だつて
オレのこと
好きなんだろう!?

今更
何言つてんだ



…っ



オレから
離れられ
ないくせに



勘違いしないで
もらえますか

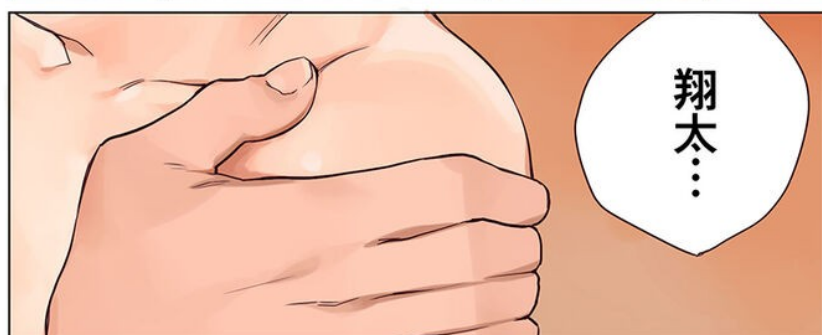
可哀相だから
遊んであげた
だけです



なっ!?

私は
半年間
の代役

あなたも
それで
良かった
はずです



翔太…



そういう素直な
ところは嫌い
じゃなかったよ



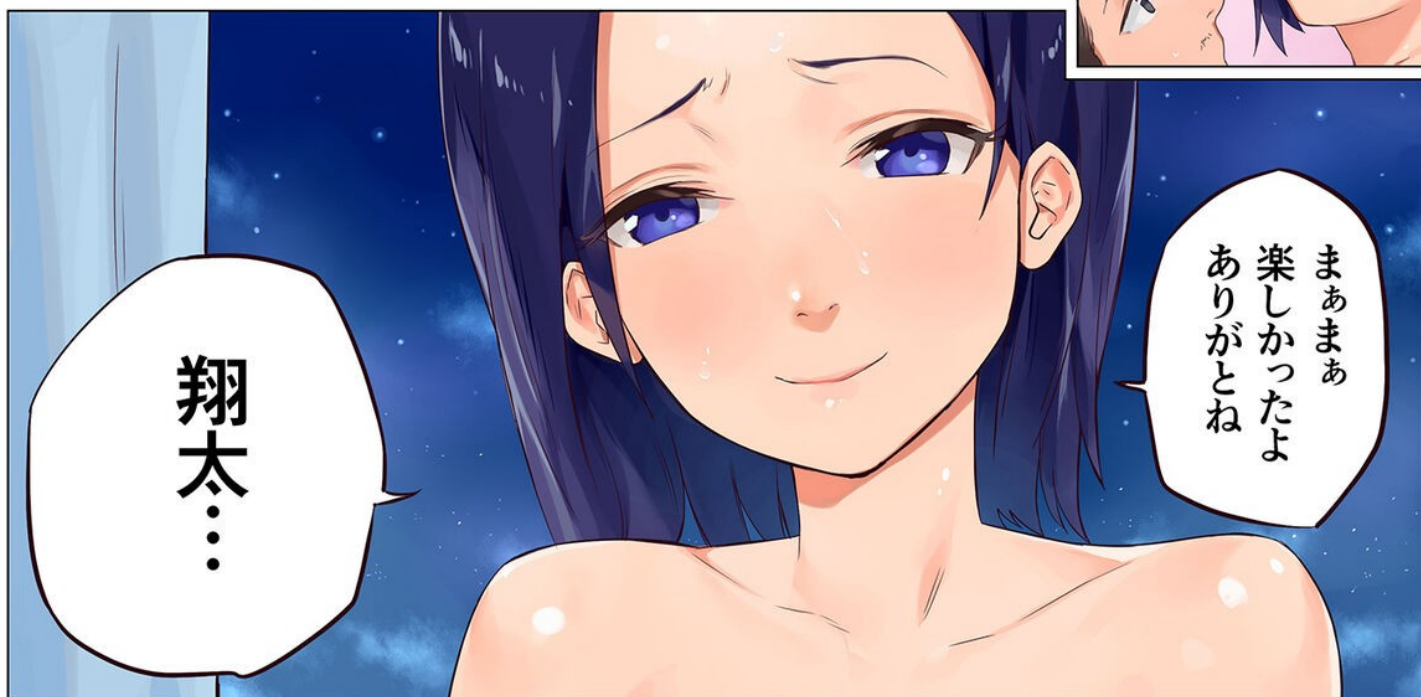
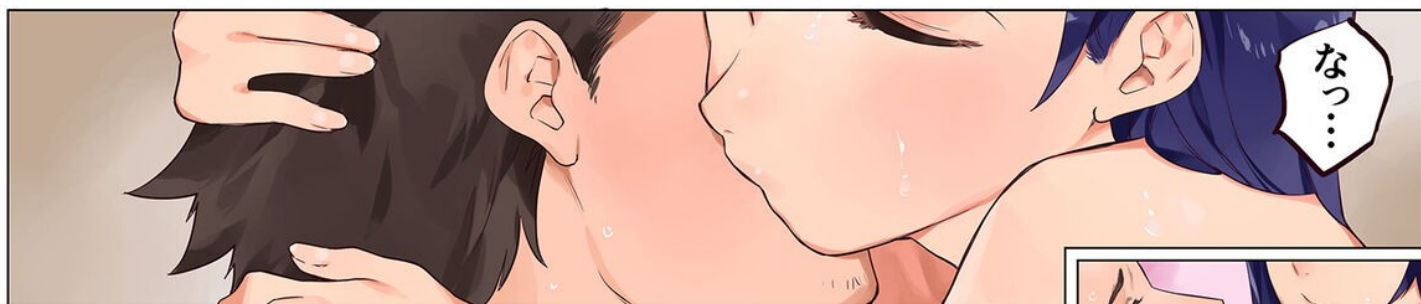
おいなんだ
それ!?

オレのこと
好きだろ!?

頼むよ

終わりだなんて
言わないでくれ!





冬子が知らない
この半年間は――

もう！
ずっと返事も
返さないし
留年してるし！

どうやったら
そんな自堕落に
なれるワケ!?

オレたちの
中では何も

ああ…

まあ
冬子ちゃん
あつてこそ
翔太って
ことで…

なあ？

なかったことに
なっていたが――

…

